

地域にはばたく市民パワー！



ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2023年7月号(第172号)

発行責任者 中原 幹男

八坂神社は疫病よけのため、1300年以前に創建された神社です。その祭りが祇園祭で疫病が流行した869年に、神々を鎮めるための儀式として始まりました。

当時、人々は怨霊による疫病に苦しんでいましたが、清和天皇は八坂神社の神であるスサノオノミコトに祈りをささげるよう命じました。現在では、山鉾巡行や祇園囃子、屋台など多様なイベントが含まれています。

祇園祭には中御座神輿・東御座神輿・西御座神輿の3基の神輿があります。

7月16日に八坂神社から氏子地区を回り、御旅所まで巡行し、御供社(又旅社)を経由して八坂神社に戻ります。



京都八坂神社を切り絵で

作：杉本 哲雄氏



中御座神輿



東御座神輿



西御座神輿

サークル無所属会員への情報発信

理事 田淵喜代子

ところざわ倶楽部には無所属会員が29名おります。そのほとんどの人達は所属母体は何らかの理由で解散になったものの、倶楽部の行事や情報に関心が有り「広場」「HP」の配信を希望して倶楽部に籍を置くことを選んでおります。

この度無所属3年目の私が倶楽部理事会の末席を汚す事になり、以前から情報不足を感じていましたので、無所属の皆様方へ倶楽部の行事毎にチラシでのご案内を配信すること決めました。

その件で厳しいご意見を頂きましたが、いずれのご意見にも真摯に向き合いながら、前に進めて行きたいと考えました。趣旨を添えて配信しましたら、「正しく会員になった気持ち」「無所属になって心許無いと思って居ましたが宜しくお願い致します」「無所属であっても交流出来ることは望ましい」「諸情報をいただき距離が縮まる様で歓迎です」などのメールを頂きました。温かいお言葉痛み入ります。

皆様方にまだご挨拶出来ませんが、何時の日か倶楽部の行事でお目にかかり、グータッチが出来る日が近い事を期待しております。



第30期 所沢市民大学が開講しました！

報告：ところざわ倶楽部 広報部

2023年6月6日(火)に第30期の所沢市民大学が開講しました。第30期の受講生は70名（女性38名、男性32名、平均年齢：68.7歳）で、年齢構成は43歳～87歳でした。開講式は、中島秀行教育長の挨拶から始まりました。1年次は6月から2024年1月までの講座と2024年2月から10月までの2年次のグループ学習となります。

◆ 1年次の講座は以下のとおり

ジャンル	講座名	講師
	特別講座（調整中）	所沢市職員
自然科学	風景をデザインする	戸田 芳樹（東京農業大学客員教授）
人文科学	日本の芸能	松本 雍（能楽研究家）
所沢学	地域の自然（所沢の生物多様性）	永石 文明（立教大学兼任講師）
所沢学	地方自治	廣瀬 克哉（法政大学総長）
自然科学	脳の科学	阿部 和穂（武蔵野大学薬学部教授）
自然科学	健康スポーツ	樋口 満（早稲田大学スポーツ科学学術院名誉教授）
人文科学	音楽	笠松 泰洋（作曲家／演奏家）
所沢学	所沢地域史	渡辺 隆喜（明治大学名誉教授／文学博士）
社会科学	食の安全	高橋 久仁子（群馬大学名誉教授）
社会科学	日本の財政	倉地 真太郎（明治大学政治経済学部専任講師）
人文科学	美術	斎藤 陽一（美術ジャーナリスト）
社会科学	日本の外交	茂木 貴（国際情勢アナリスト）
自然科学	現代の環境問題を考える	北野 大（秋草学園短期大学学長）
自然科学	地震学	久留間 文隆（大東文化大学講師）

◆ 2年次講座プログラム（2024年2月～10月）

講座：日本の芸能、音楽、脳の科学、健康スポーツ、地域の自然、地方自治、所沢地域史

グループ学習発表会：10月に学習の成果をまとめ、公民館ホール（予定）で発表



所沢市教育長 中島 秀行氏

第3回

“ところざわ倶楽部まつり”
開催します！

— 輝くシニア大集合 —



日 時 2023年9月27日（水曜日）

舞台部門 12:00～16:00

展示部門 11:00～16:30

（準備開始は 9:00より）

会 場 所沢市中央公民館ホール・ホワイエ



「舞台部門」

参加サークル名（6サークル）所沢シニア世代地域デビュー支援の会／所沢の自然と農業／
ドラマティック・カンパニー／懐かしの映画・鑑賞会／民話の会／食を通して所沢を知る会
【特別出演】ビッグフェロージャズオーケストラピックアップメンバー／所沢市を中心に活動
している「ビッグフェロージャズオーケストラ」のプロデューサー藤本忍と5名のメンバー
が演奏します。

「展示部門」

ところざわ倶楽部、全13サークルの紹介／ 個人の作品
（個人の作品出展は7月末までに各サークル理事に申し出て下さい）

＊推進体制

全体プロデュース：松尾事業部長

舞台部門チーフ：茂出木理事 / 展示部門チーフ：梅津事業部副部長
尚、両部門に於いて実行委員を募集しています。

＊準備スケジュール

舞台出演内容の把握／プログラムの検討／進行表作成／展示作品募集・
内容確認／展示レイアウト検討／チラシ作成／広報活動

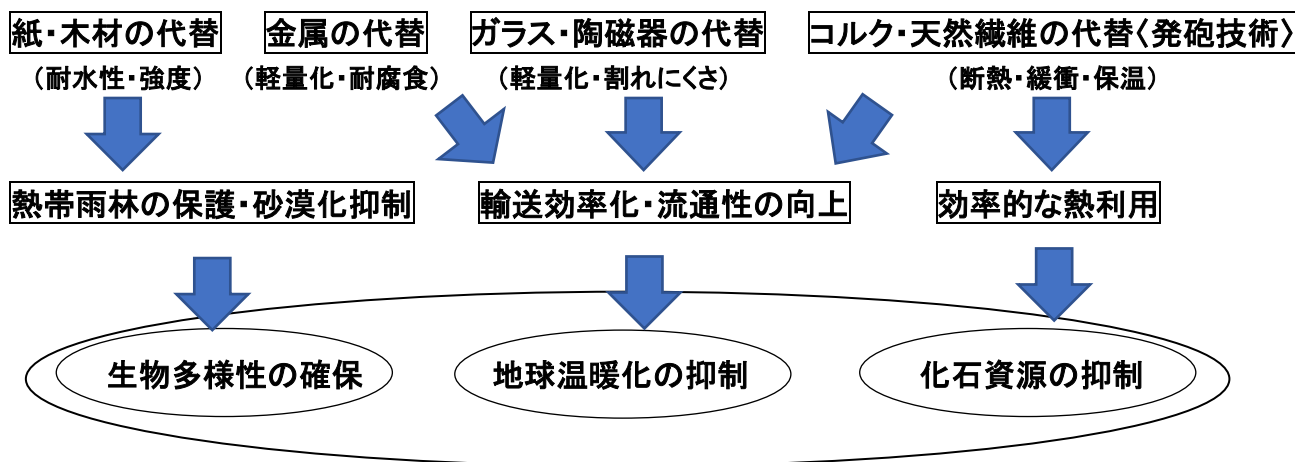
会員みなさまの積極的な参加・協力をお願いいたします！

環境問題シリーズ 第31章

プラスチック(樹脂)は
地球環境悪化の原因なの？

地球環境に学ぶサークル 尼田 康

【表. プラスチックの利点】



過去、プラスチックは100年弱の歴史で、木材、紙、金属、ガラス、天然コルク等の一部を代替してきました。低熱量で熔融し、加工も簡単で、様々な形に成形・加工が出来る特徴から、私達の生活に欠かせない存在になっています。そのため、現在では、かなりの量のプラスチックで自動車、弱電等の部品やあらゆる雑貨品が製品化されています。その結果、不要になったプラスチック製品も増えています。プラスチック(ポリエチレン・ポリプロピレン・PET・ナイロン等)は腐らない素材です。これは長所でもあり、欠点でもあります。

現在、地球環境問題(マイクロプラスチック問題、CO₂問題等)に対して、化石燃料の軽減策としてプラスチックの使用減を掲げ、対応を検討している行政や企業が多くなってきています。素材全て(金属、木材、ガラス、プラスチック等)に共通して言えますが、不要物としてポイ捨てを行うと【不要ごみ】となり、地球環境を悪くします。

以前は、プラスチック製品をひとくくりで廃棄処分していました。回収ができなかった【プラスチックごみ】は、地球上にいわゆる【一般ごみ】となって捨てられ、海に流されたプラスチックは、紫外線による劣化や波の作用などにより破碎されマイクロ化して漂流し、魚はえさと間違えて食べ体内に蓄積され、生態系を壊しているのが現状です。

また、異種プラスチックの複合化技術等で、要求品質に対応できる製品化や、プラスチックに直接印刷された製品がコスト面からも主流だったために、廃棄されたプラスチックは、回収が難しく、焼却処分しか方法がありませんでした。

最近では、ペットボトルはラベルと本体との分離、自動車の内装材や弱電部材でもリサイクルを考慮した分離・剥離が容易に出来る積層技術組み立て・貼り合わせ技術の進歩で、各企業で回収可能な製品化が進められています。

従って、私達は、今後の地球環境保護を考えた場合、プラスチックの特性や加工方法を理解して廃棄方法を考えなければなりません。金属や紙も同様で、異種素材との貼り合わせをしたのでは、プラスチック同様に【燃えないごみ】扱いとなります。回収しても再利用は出来ません。多くのプラスチックを廃棄する前にまず【分別】を考え、回収することこそが今出来る最善の策であり、プラスチックと共生でき、地球環境対応を考える策と考えます。そのためには、プラスチックの種類や特徴を理解した上で、廃棄・分別できる知識を持つことが重要です。今後の環境を考える上で、私達は【分別】を徹底し、廃プラを再利用・再加工できる様に努めなければなりません。

「時局講演会」のお知らせ

激動する世界の中での日本の役割とは

— 平和を築く道を求めて —

理事 岡部 まさ子



講師：孫崎 享氏

ロシアがウクライナへと侵攻して一年半が経とうとしています。毎日のように流れるニュースでの戦闘場面や戦場となっているウクライナの市民の人々の生活が破壊されている様子に心が痛み、一日も早く平和をと願っています。反面、欧米諸国が競うように、ウクライナへと武器供給等軍事支援をしている現実、戦争を長引かせている要因の一つのように思われます。それを主導している米国のバイデン大統領には、軍産共同体の影が透けて見えてきます。

ロシアのウクライナ侵攻は決して認められませんが、NATO 拡大が侵攻原因の一つとも云われています。ソ連崩壊時、NATO の東方拡大はしないとの約束は守られずに、今またウクライナが NATO 加盟を希望すれば、ロシアにとっての脅威は増し加えられるのは、確かでしょう。そのような状況の中であって、トルコ、イスラエル、インド、インドネシア、中国までもが和平を働きかけていますが、平和憲法の下にいる日本の政治家が誰一人として和平への行動を起こさないのは、残念でなりません。

それどころか、この時ぞとばかりに、政府は軍拡路線を突き進み、安全保障三文書を閣議決定、防衛関連費を国内総生産比2%(従来は1%)に引き上げるとし、敵基地攻撃能力の保有を明言、米国製ミサイルトマホークの購入を進めています。

日本が戦争をする国へと大きく変わろうとしている今、[武器では平和は作れない]というアフガンで亡くなられた中村哲医師の言葉が、想い起されます。終わりの見えないロシアとウクライナとの戦争という現実、どうしたら 平和への道を築く事が出来るのでしょうか？

今回、時局講演会の講師としてお招きいたしました孫崎享氏は皆様よくご存知の事と思いますが、元外交官で、現在は東アジア共同体研究所所長として、また様々な言論活動や執筆活動に携わって、ご活躍されています。氏は、外務省に入省して間もなく、英国陸軍言語情報学校(007 育成の学校とか?)に派遣され、その後モスクワ大学留学後、モスクワ大使館勤務を経て、ハーバード大学国際問題研究所研究員、ウズベキスタン大使、外務省国際情報局局長、イラン大使、防大教授など多彩な経歴をお持ちです。

そして外交官時代から一貫して、対米自立派の立場を貫いています。[全ての紛争は、外交で解決出来る]という外交官としての豊かな経験を通して、日本の現状を分析、激動する世界の中で、アジアで戦争を起こさせないため、また日本が巻き込まれないためにもどのようにしたら平和への道を築く事が出来るのか、日本の役割とは、を一緒に考えてみませんか。

日時 9月8日(金曜日)
14:00~16:00
会場 所沢市中央公民館ホール
入場無料・先着200名



サークル活動報告

〈 創作民話に挑戦しています 〉

民話の会 玉上 佳彦

民話の会は2013年2月に活動を開始して、昨年で10周年の節目を迎えました。これを機に、私達は新作民話を創り、9月に予定されている「第3回ところざわ倶楽部まつり」で披露することで準備しております。

9月のところざわ倶楽部まつりでは、「車返しの弥陀」と「鳳凰と海老」の2編の民話を語る予定で準備していますので、ご期待下さい。

3年以上のコロナ禍で、これまで続けていた小学校や老人福祉施設での民話の語りができなくなり、この間は新作民話を創ることや、民話の由来地めぐりなどのアウトドアでの活動などを進めてきました。これまで「カヤ湯」「かっぱのお伊勢参り」「塚ノ越地蔵」などの新作民話3作を創ってきました。更に、倶楽部のHPで、「民話の会の特集ページ」にて、これまで語ってきた民話の一覧を、絵と台詞で公開していますので、是非ご覧下さい。HPでは、民話の会のテーマソングも聴くことができます。

9月に披露する新作民話のトップページの画像を各1画面のみ以下に添付しますので、本番を楽しみにお待ち下さい。



〈 どうするシニア世代！ 〉

所沢シニア世代地域デビュー支援の会

田口 元也

いまや「どうする〇〇！」ばやりである。

2022年4月からテーマにしてきた「私たちの2025年問題」、まもなく2025年を迎えるが、そろそろ新たなテーマを「どうするか」考えなければならない。

2025年には後期高齢者が約2200万人となり、国民の4人に1人が75歳以上になるという、未知への不安を抱きながら、社会をめぐるいろいろな問題について話し合ってきた。ところが、厚生労働省は、2022年の「人口動態統計」で合計特殊出生率は過去最低の1.26となり、赤ちゃんの出生数も初めて80万人を割った(77万747人)ことを公表した。さらに、2070年の国内人口は、いまより3割減の8700万人になるとの驚くべき推計がしめされ、「次元の異なる少子化対策」を講じなければ人口減少に歯止めがからない状態が続くというのである。こうなれば、「2025年問題」などといっていられない。もっともつと先を見据えて考え直さなければならない。

「どうするシニア世代！」

いよいよシニア世代の地域デビュー支援に本腰を入れて、「人生100年時代」をめざして頑張らなければならないようだ。



6月定例会 中央公民館

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

1. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)

7月26日(水)13:30～16:00 中央公民館8・9号室 定例会
 テーマ：福田会員による問題提起
 防衛力、対話の交渉、女性活躍社会
 7月19日(水)11:30 暑気払い(予定)
 西川口中華街でガチ中華を味わう会
 8月定例会はお休みします

2. 楽悠クラブ (田村 健一郎 2949-3434)

7月11日(火)13:15～16:30 中央公民館3階8・9号学習室
 フランツ・レハール オペレッタ「ルクセンブルグ伯爵」
 7月11日(火)18:00～20:00 暑気払い会
 8月例会：夏休み
 9月例会：モーツアルト歌劇「フィガロの結婚」日程未定

3. 食を通して所沢を知る会 (岡部 まさ子 080-5872-1868)

7月18日(火)10:00～ ふらっと
 ところざわ倶楽部まつり準備
 7月25日(火)10:00～
 [みどりの食料システム戦略]説明会
 地球環境に学ぶサークル、所沢の自然と農業サークル共催

4. 地球環境に学ぶ (小田原 一博 080-6537-2670)

7月14日(金)10:00～12:00、新所沢東公民館、読書会
 FoE Japan 編「福島は今とエネルギーの未来2023」
 7月25日(火)10:00～12:00、ふらっと2F
 農水省荒田課長の出前講座「みどりの食料システム」
 地球環境、食トコ及び所沢の自然と農業の合同開催

5. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 (田口 元也 090-9820-5668)

7月12日(水)13:15～15:00 中央公民館 3階 学習室7号
 定例会 テーマ「私たちの2025年問題」ーこれからどうするー
 〈SP スマイル・パイレーツ練習日〉どなたでも見学大歓迎！
 7月8日(土)13:30～16:00 中央公民館 3階 学習室8・9号室
 7月22日(土)13:00～15:00 新所沢公民館 トレーニングルーム
 ※ところざわ倶楽部・市民活動支援センター イベント出演予定

6. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 090-5530-4703)

7月13日(木)10:00～13:00 料理講習会。新所沢公民館調理室
 13:00～15:00 定例会 新所沢公民館学習室1号
 7月18日(火)9:30～11:30 柳瀬荘黄林閣ボランティア
 7月25日(火)10:00～12:00 ふらっと 農水省関東農政局講演会
 “みどりの食料システム戦略”
 7月28日(金)9:30～11:30 柳瀬荘黄林閣ボランティア

7. 野老澤の歴史をたのしむ会 (栗屋 貴夫 090-2746-9840)

7月13日(木)9:50～15:30
 「府中郷土の森博物館とサントリービール工場」の見学
 9:50「JR 新秋津駅」集合～府中郷土の森博物館～
 サントリービール工場～府中本町駅 15:30 解散
 7月20日(木)11:00～13:00 中央公民館学習室8・9号
 出前講座「所沢市の防災・減災対策」を受講

8. ドラマティック・カンパニー (高橋 信行 090-9393-6238)

7月29日(土)暑気払い
 8月19日(土)10:00～12:00
 8月26日(土)10:00～12:00
 場所：いずれも未定
 シェイクスピア原作「恋の骨折り損」松岡和子訳
 ちくま文庫 朗読

9. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151)

7月11日(火)10:00～12:30 西新井町会館
 邦画「ラヂオの時間」(97年) 三谷のコメディ作品
 7月25日(火)10:00～12:30 西新井町会館
 洋画「ライムライト」(52年) チャップリン作品
 ⇒ ～七夕の会～

10. 脳活サークル (加曾利 厚雄 2939-2308)

7月24日(月)13:30 受付開始～ 中央公民館・学習室6号
 ※会場が変更になりましたのでお間違いのないように。
 「落語演芸会とオカリナ演奏」を楽しもう！
 落語は大石守康氏ほか2名とオカリナ奏者1名がご出演
 8月21日(月)13:30～ 子供と福祉の未来館 多目的室4号
 内容：ミニケアホーム「きみさんち」の紹介、志寒浩二氏

11. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835)

7月19日(水) 新所沢東公民館 研修室5号
 テーマ：「通年会期制について」学習会、資料当日配付
 ほかに各グループ報告
 9月20日(水) 9月テーマは7月例会で検討

12. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283)

7月14日(金)10:00～13:00 こどもと福祉の未来館
 多目的室4号(3階) 定例会
 新作民話2作「ほうおうとえび」「車返しの弥陀」語りの練習
 8月25日(金)10:00～13:00 こどもと福祉の未来館
 多目的室2号 定例会 「まつり」に向けて語りの練習

13. ITサロン(ところざわ倶楽部) (玉上 佳彦 090-2497-1076)

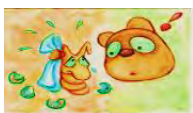
7月12(水)13:00～16:00 新所沢公民館 学習室5号
 パソコン相談会
 7月28日(金)13:00～16:00 新所沢公民館 学習室6号
 パソコン相談会
 8月はお休みします

理事会報告 6月12日 第7回理事会が開催されました。
 今期の文芸講座は121名(会員63名一般58名)の参加者と共に、
 宮川葉子先生の講演で”紫の物語”を楽しみました。
 ・9月8日(金)14:00～16:00 中央公民館 時局講演会
 「激動する世界の中での日本の役割とは？」 孫崎享氏
 ・11月22日(水)第17期定期総会 ミューズ2階展示室を予定
 7月10日(月)10:00～12:00 第8回理事会 新所沢東公民館

みんなの広場
第 50 回

民話の会 文平 あつ子

楽しかった青春！～
明るい未来へと



先日、同窓会の会報が届きました。

代官山駅から大使館が立ち並ぶ高級住宅地をぬけると通った高校があります。仲良し 5 人も亡くなったり遠方への結婚で遠のき、それでも今、度々会う親友がいます。

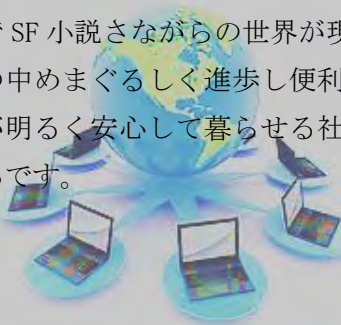
また、品川に住んでいた頃の幼馴染は幼稚園から高校まで一緒に今三島に住んでいます。同窓会の時は、家に泊まり参加しました。

コロナ流行の初め練馬に住んでいた長女は、子供 3 人と家族 5 人でカナダへ移住しました。中学 3 年生だった孫は、この 6 月で無事カナダで高校卒業となりました。カナダでの生活は、家から庭、孫たちの各部屋まで見ることが出来、手軽に話す機会もあり遠方に行ったという感覚があまりありません。便利な時代になりました。

最近気になる新聞記事を目にしました。

米の AI 起業家が AI は社会や人類の深刻なリスクになるということです。AI 技術開発が開発した人達の理解や予想を超えコントロールできないほどの強力なデジタルマインドを作り、人工知能で SF 小説さながらの世界が現実になりつつあると・・・。

世の中めまぐるしく進歩し便利になっていますが、孫たちの未来が明るく安心して暮らせる社会であってほしいと切に願うところです。



編集後記

毎月広場の発行が済むとホッとします。編成案のとおり依頼していた原稿が届くと、紙面作成担当が紙面割りをします。それを編集委員全員で目を通し校正をします。その後、編集委員会が開かれ校正済みの全頁をプロジェクターで写し、再度委員全員で最終校正をします。その後 450 部の印刷に取りかかり、製本、郵送分の手配と最後に各公民館へ手分けをして配布します。と言う流れで会員の皆様にはその日のうちにメールで送付されます。

私は編集に関わり、5.6 年になりますが、一番大変なのは毎月の紙面編成を決め、その原稿の依頼でしょうか。なるべく多くの方に書いて頂きたいと思いますが中々難しい事もあります。しかし頂いた原稿をいち早く読ませて頂くと、会員の皆様の豊富な経験、知識、向上心に驚くことばかりです。ところざわ倶楽部のニュースに留まらず世界情勢、政治経済、環境問題、自然、趣味等多岐にわたり 8 ページの内容はかなり濃いものになっています。この歳になっても知らない事柄に思わずネット検索してしまうのですが、自身勉強しながら編集担当として皆様に隔々まで読んでいただけるように紙面作りをしたいと考えています。そして、会員皆様からのご意見ご要望等、是非お寄せ頂きたいと思ひます。

話は変わりますが、毎年ヒヨドリが巣作りしていた庭の夏椿に、今年はメジロが巣作りして、雛が 4 羽生まれました。親鳥が一生懸命エサを運んできます。あまりの可愛さに我が家は小さな幸せにひたっています。

課題「友達」

川柳「八十六」

作品発表 選 中島峯生

「自由題」

友だちと若見え談義試着室
自慢癖話し友達みなあちら
友達は青空の下川遊び
何よりも友達欲しい子供たち
友の席グラスを置いて一人酒
ボケ友と弾む会話は代名詞

りんご好き
詔 笛
峯 声
海さとの
突 拍 子
縄 文 人

ジジババはいいとこ見つけほめる役
久し振り笑わせ講話復活だ
思い出は楽しい遊び夏休み
五十年夫婦でめざす金メダル
ブツブツとラップ念仏独り言
何だかややや慣れてる老夫婦

りんご好き
詔 笛
峯 声
突 拍 子
縄 文 人
海さとの

次回（第 87 回）課題「多い」そして「自由題」
締切り日：7 月 20 日、担当中島まで、どなたでも
宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp
Fax 04-2928-1161